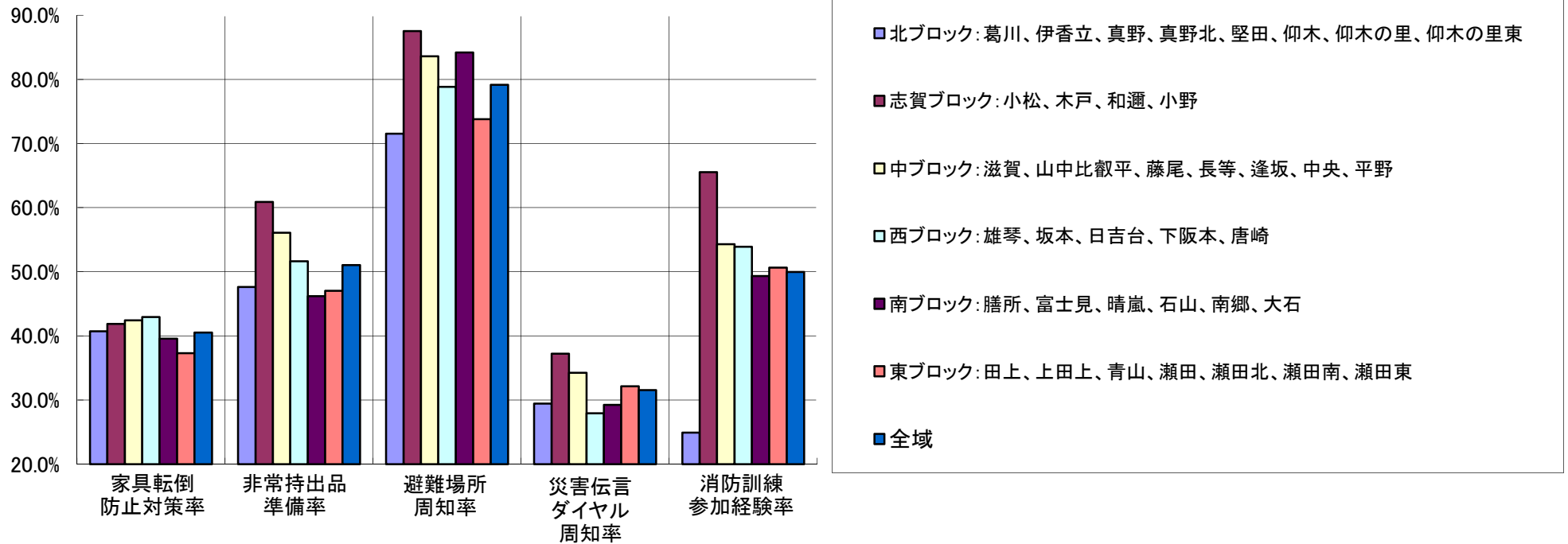


防災意識調査の項目別集計結果について

ブロック名	実施世帯数	回答世帯数	家具転倒防止			非常持ち出し品			避難場所			災害伝言ダイヤル			消防訓練参加経験 (過去2年間)		
			有り	無し	対策率	有り	無し	準備率	知っている	知らない	周知率	知っている	知らない	周知率	有り	無し	参加率
北ブロック	1056	506	206	300	40.7%	241	265	47.6%	362	144	71.5%	149	357	29.4%	126	380	24.9%
志賀ブロック	715	473	198	275	41.9%	288	185	60.9%	414	59	87.5%	176	297	37.2%	310	163	65.5%
中ブロック	1143	549	233	316	42.4%	308	241	56.1%	459	90	83.6%	188	361	34.2%	298	251	54.3%
西ブロック	1398	666	286	378	42.9%	344	317	51.7%	525	134	78.8%	186	462	27.9%	359	290	53.9%
南ブロック	844	513	203	310	39.6%	237	276	46.2%	432	81	84.2%	150	363	29.2%	253	260	49.3%
東ブロック	1481	912	340	572	37.3%	429	473	47.0%	673	191	73.8%	293	594	32.1%	462	425	50.7%
市内全域	6,637	3,619	1,466	2,151	40.5%	1,847	1,757	51.0%	2,865	699	79.2%	1,142	2,434	31.6%	1,808	1,769	50.0%

※ 実施世帯数と調査項目集計数が異なるのは一部の調査票が未記入による

ブロック防災圏別 集計結果



平成23年11月9日(水)から15日(火)まで秋の火災予防運動の期間を捉え、災害対策について市民の防災意識を把握することを目的に市内6,637世帯に訪問調査を実施したところ、3,619世帯から回答があり、その結果は上の表とグラフのとおりとなります。

この結果を分析すると、家具の転倒防止対策をしていない世帯や災害伝言ダイヤル(・171)の使用方法について知らない方が多い状況に加え、地域によって消防訓練の参加に対して意識の差があることがわかります。

特に家具の転倒防止対策については、家庭でできる地震対策の最重要項目であり、大地震発生から生死を分ける分岐点となります。我が家の防災の第一歩として、まずは、家具の転倒防止対策を実施しましょう。